

他臓器癌を重複した乳癌の検討

田中 千晶 二見喜太郎 有馬 純孝

福岡大学筑紫病院外科

要旨：当科で1985年から2002年までに手術を行なった女性乳癌396例中、29例（7.3％）に他臓器重複癌を認めた。同時性が4例、異時性が25例であった。その中で乳癌先行は15例、他臓器癌が先行したものは10例であった。重複癌臓器は胃、次いで子宮が多かった。第1癌から第2癌までの診断時期では25例中15例が5年以上経過しており、癌術後患者においては再発だけではなく重複癌の発生も念頭においた長期経過観察が必要と思われた。

キーワード：乳癌，他臓器重複癌，同時性，異時性